

福島ロータリークラブ会報

vol.5

2018.8.23 thu



<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30
 【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011
 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

18-19年度スローガン「融和と進化」

本日の
プログラム

新会員スピーチ

JRA 福島競馬場 場長 後藤浩之 会員

会長あいさつ



2018-19年度会長 **浦部 博**

まだまだ残暑が続いておりますが、先日はにわかに秋風が吹いて、朝夕はすっかり秋になりました。

松川の花火とわらじ祭りで盛り上がった夏ですが、お盆が終わると、灯籠流しと花火、競馬場の花火と、夏を送るような風物詩が続いて、甲子園で締めくくりになりました。優勝旗は残念ながら東北に届きませんでした。大健闘でした。

一方で、トランプ大統領は中国との貿易摩擦に続いて、トルコユーロの暴落といった保護主義全面の暴挙で、世界経済に迷惑をまき散らしているようですが、日本にも大きな影響が及ばなければいいが、と思っております。

さて、今日は新会員スピーチもありますが、わたしは、会員スピーチで「わたしの一面」というお話をしてもらおうのもいいなと思います。

人には外向きの顔と内面の顔がありますが、内面の顔にこそ、その人の本来の姿があるのではないかと。本当の友達は、そんな内面に波長が合うことで生まれるのではないかと、と思っております。

季節の変わり目です。みなさん体調に充分気をつけて、お過ごしください。

その他のお知らせ

- 8/25 (土) 県農業センターにて会員増強・拡大・ロータリー情報委員会セミナーが開催され、当クラブからは増子幹事と右近会長エレクトが出席します。
- 9/6 (木) 17:30より新会員セミナーが開催されます。入会2年未満の新会員の皆様にはご案内を差し上げておりますが、他にご希望の方がいらっしゃいましたら事務局迄お知らせください。
- 例会終了後、会員選考・増強・職業分類・出席小委員会が開催されます。委員の方はお残りくださいますようお願い致します。
- 8月ロータリーレートは1ドル112円となりますのでお知らせ致します。

例会次第

開会点鐘 浦部 博 会長

ロータリーソング「我等の生業」
ソングリーダー 安藤健次郎 会員

会長あいさつ 浦部 博 会長

入会式
東北電力(株)福島支店 支店長 江波恒夫 様
(紹介者 丹治正博 会員)

8月誕生祝い

食事

幹事報告 増子 勉 幹事

各委員会報告

■ IT戦略・雑誌小委員会報告
*「友」8月号紹介
佐藤美奈子 小委員長

■ プログラム・ニコニコBOX小委員会
ニコニコBOX担当
佐藤 裕 委員

本日のプログラム

閉会点鐘 浦部 博 会長

例会プログラムのご案内

9月6日(木) 12:30 ~ 辰巳屋

通常例会
友田久也 新会員スピーチ(みずほ銀行福島支店長)
■ 9月誕生祝い ■ 「友」9月号紹介

9月13日(木) 12:30 ~ 辰巳屋

クラブ協議会
【ベテランウィークにちなんで】
渡邊又夫 会員スピーチ

新会員スピーチ



JRA 福島競馬場 場長
後藤浩之 会員

皆様、こんにちは。ただいまご紹介いただきました JRA 福島競馬場の後藤です。

本日、新会員スピーチを行う機会をいただき、ありがとうございます。

私がこの福島に赴任した今年の3月から半年が経ちましたが、その間、福島競馬を春と夏に行き、また今年はこちら福島競馬場開設100周年にあたってのことがあり、式典などのイベントも多く、本当にあつという間に過ぎていったというのが第一の印象です。

その間、佐藤英典先生のご尽力により、この伝統ある福島ロータリークラブに入会させていただきました。福島と何もゆかりもなかった私ですが、皆様の暖かいご支援のおかげで、夜を含めて楽しい福島ライフを過ごさせていただいていることをこの場をお借りして御礼申し上げます。

さて、まずは私の生い立ちなどについてお話しさせていただきます。

私は昭和37年12月30日生まれの55歳です。生まれも育ちも東京・世田谷です。

家族構成は、妻と子供は社会人、大学生、高校生の息子3人と小学校6年生の娘が1人という6人家族で、今も世田谷で暮らしております。

中学生まで世田谷で「のほほんとした生活」を送っていた私ですが、高校は新宿という都心のど真ん中にあるところに通い、シンナーを吸う浮浪者、朝からもうもうと湯気が上がるソーブランド、週末は赤ペンさした競馬ファンが集うウインズ新宿などを横目に通学していたこともあって、少しか社会勉強をさせていただきました。

大学は卒業証書ほしさに2年がかりで慶応大学に入学

したわけですが、特に大学でこれといった勉強は全くしませんでした。

そんな私がなんで JRA に入会したか、ということについて簡単にお話しいたします。

もともと競馬は幼稚園の頃から好きで、父親に東京競馬場や大井競馬場に連れて行ってもらったり、有馬記念とかダービーなど主要なレースはテレビで観戦するなど、競馬へのアレルギーは全くありませんでした。その後、大学時代には先輩にも恵まれたこと、ミスターシービーとかシンボリルドルフの出現もあって、毎週「競馬ブック」を購入するような、普通の熱心な競馬ファンになっていました。

一方、私が就職活動をしていた昭和60年ごろは、それこそ中央競馬はミスターシービーやシンボリルドルフといった3冠馬が誕生する時代ではあったものの、まだオグリキャップといった老若男女が皆知っている所謂第3次競馬ブーム、バブルといった時代ではなく、また日本中央競馬会も JRA という名称もなく、「NCK」と名乗っていた頃でした。大学時代の友人でも競馬自体は知っているものの、競馬が日本中央競馬会で行っていることを知っている者もほとんどいないという時代です。

そうした中、当時、自宅に送られてきた「リクルート」の就職案内の雑誌で、たまたま日本中央競馬会のページを開いたところ、「特殊法人」という何とも言えない香ばしそうな文字を見て、これはきっと親方日の丸で「楽」な会社に違いない、と勝手に思い込むとともに、学生時代、何も勉強していないわけですが、競馬であれば、大学で学ぶ専門知識なんか全く関係なく、勉学に励んでいた他の学生と互角に勝負できる、と踏んで、JRAの門を叩いたわけです。結果として、幸運にも JRA に就職できた私です。

ちなみに当時の JRA のことが知れ渡っていないという

個人的なエピソードとしては、祖父に就職先を報告したところ、「大学まで行って、なんで馬の世話をする仕事をするんだ？」と怒られた記憶があります。

JRAに就職後、今日まで30余年、主に馬券の販売の仕事をしてきました。

馬券の販売というと、皆様は、マークカードに買い目を記入し、馬券売り場で所謂「窓口のおばちゃん」から馬券を購入する、と言う光景を思い浮かべると思いますが。また平日は何しているんだろう？という思いがあると思います。

そこで今日は、装置産業としての馬券販売について、ちょっとだけお話をさせていただきます。

まず皆様がなぜ馬券を買うかといえば、それは払戻金を得るため、これがほとんどの目的だと思います。

この払戻金はどのようにして決まるかといえば、競馬をやっている方はご存知でしょうが、知らない方に簡単に説明しますと、レースで1着を当てる単勝であれ、1着から3着までを着順どおりに当てる3連単という馬券であれ、皆様が馬券を買った総額からJRAが控除＝寺銭を差し引いた残りの金額を的中者で山分け、という仕組みになっています。

この仕組みですが、今から60年ぐらい前のコンピュータがまだ普及していなかった時代においては、この売上げ総額や的中票数を全て人が手計算をして行っていました。

この計算等を瞬時に行うため、最終的に売上げ総額や払戻金を集計・計算するところには、ソロバンの先生を擁しておりました。福島競馬場にも競馬になると東京から集計・計算の達人が出張で来ていたという逸話があります。また競馬場以外、所謂「場外」で売られて馬券に関して、競馬場への連絡も電話で行っていたことから、場外の締切時刻はレースの1時間前とか30分前とかに設定していました。

その後、コンピュータや通信網が発達し、票数の集計や払戻金の計算も瞬時に行うこととなり、今では競馬場やウインズでは発走時刻の2分前、ネット投票では1分

前に設定しております。

このコンピュータに関して、東京の永代橋と大阪の福島というところに計算センターがあります。ここに馬券販売に係るコンピュータが置かれていて、馬券の売上げの集計・払戻金の計算、さらにネット投票については、会員の購入決裁などをそれぞれの計算機で並行して行っています。

これは、東京のセンターが現用系、大阪のセンターがバックアップという形で万が一東京のセンターに障害が起こっても馬券発売に支障が出ないようにしているからです。

こうした装置により中央競馬の馬券発売は毎週円滑に行っている訳です。

このセンターの計算機の処理能力ですが、ネット投票の会員の方々は土曜日で70～80万人、日曜日だと100～120万人ぐらいが、有馬記念当日だと昨年の有馬記念は220万人が参加します。

特に有馬記念の締切前には、1分あたり10万人以上の会員が馬券を買っていますが、そうした負荷に対応できる能力を有する計算機で、一説には同じ富士通製を使う東京証券取引所の計算機の能力に匹敵するとのことでした。

またセンターの馬券販売に係る計算機以外にも皆様にオッズや成績などの情報提供を行う計算機及び通信回線については全て二重化を行い、障害が発生しても販売・サービスが止まらないようにしています。

ちなみに話は逸れますが、現在、日本銀行や民間シンクタンクが様々なデータに基づき景気動向調査を行っています。

私見ですが、是非、JRAの馬券売上げの推移を見ていただきたいと思います。

中央競馬は毎週土曜日・日曜日に100万人以上のお客様の参加をいただいています。参加していただいているお客様の区分はほぼ日本の人口区分と近く、さらに富裕層・中間層・低所得層など非常にバラエティー

にとんだ階層となっており、中央競馬の売上は家計実収入の推移とほぼパラレルな関係になっており、相関性が極めて高いことが判っています。よく考えれば毎週、一つの業種で100万以上の人が必ず消費するようなデータは多分日本には存在しないと思います。皆様も単に競馬ということではなく、実は日本の実態経済と結びついていることをご理解いただければと思います。

なお、JRAの売上予測ですが、ここ数年に亘るサービス・広報施策を継続したとして、家計実収入が55万円(H29は53.8万円)に達すると、売上げも3兆円となると予測しております。

話は逸れましたので、話を元に戻しますが、私はこうしたシステムの下、現金投票とネット投票の企画・運用に長く携わってきました。そのため様々なお客様と接する機会がありました。

また、中の仕事としては、福島にはありませんが、関東や関西のアルバイトには労働組合があることから、その組合との折衝を含め、アルバイトの労務管理も行っておりました。

一方、例えば地元、マスコミ、馬主、きゅう舎関係者など競馬を取り巻く様々な方々と接する機会はほとんど無く、本年3月にこの福島に着任しましたが、漸くそのような方々と接することができ、遅まきながら競馬人として社会人として勉強をさせていただいている毎日となっております。

それと本年は福島競馬場開設100周年であることから、ほんの1カ月前、夏の福島競馬のエピソードを何点かお話しさせていただきます。

今年の夏の福島競馬は、例年にも増して暑かった気候の中で行いました。競馬場の気温は気象庁が発表する福島市の気温より、照り返しなどもあって1～2度高いので、8日間で猛暑日が6日でした。

ただ、スタンドでは空調設備をフルパワーで稼働させ、開催中、熱中症になったお客様は数名に留まった程度でした。競走馬も装鞍所、パドック、コースの馬待避所にミストを設置したこともあり、またレース終了直後にホースで競走馬に直接水をかけるなどの対応を行ったことで、

熱中症もわずか5頭に留めることができました。

ただ、その結果、電気料金や水道料金は例年を大きく上回ってしまい、特に電気料金に関して、本日は東北電力の江波支店長がいらっしゃいますが、契約電力を超過したことから、ペナルティ料金まで払うこととなりました。

それからこの夏の競馬のハイライトは、武豊騎手と障害のスーパーstarホース「オジュウチョウサン」の参戦でした。

その日は開催中唯一雨が降り涼しい日でしたが、朝から競馬場は異様な熱気に包まれ、オジュウチョウサンが1着でゴールした際のお客様の大歓声は、それこそG1レースのものに匹敵するようでした。

このオジュウチョウサンが出走した「開成山特別」、この郡山市開成山には100年前福島競馬場ができる前にあった競馬場だったので、何かと因縁があるそのレースでオジュウチョウサンが勝ったことは、福島競馬場100年の歴史に新たな1ページが加わる出来事でした。

ただし、私事になりますが、レース自体の記憶よりも、レース後の表彰式、でウイナーズサークルにお客様が殺到し、本当にヒヤヒヤ、怖くなって、レースの興奮も何処かに吹っ飛んでしまったという記憶が鮮明で、ちょっと損した想いが強いです。

ちなみに武豊騎手とオジュウチョウサンですが、9月22日(土)中山競馬場で行われる九十九里特別に出走すると報じられています。もしそのレースに出走したら、是非、ご覧いただきたいと思います。もしかして、競馬の歴史の証人になれるかもしれません。

以上が新規会員としてのスピーチとなります。

最後に、私はこれまでの歴代場長に比べ、小粒・物足りないこと多くあり、まだまだ未熟者ということでお許しください。一方、この伝統ある福島ロータリークラブの皆様とお付き合いなどを通じて更なる成長をしていきたいと思いますので、今後とも皆様におかれましてはご指導方お願いいたします。

本日はご静聴誠にありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

■「ロータリーの友」8月号のご紹介

IT戦略・雑誌小委員会 佐藤 美奈子 小委員長



【注目記事】●横組み P3

RI会長メッセージ

バリー・ラシンRI会長のメッセージには、「この20年間会員数が120万人台のままで会員の増加もなく年齢層が上がってきている。ロータリーのプログラムや財団について知らないクラブ、ロータリーの活動を知らないクラブが多すぎる。男性が会員の大半を占め女性が少ない」という問題点がメッセージの中にあげられ、クラブの価値について新会員の方々に伝えることの責任について述べられています。

【注目記事】●横組み P9 ~ 22

特集 会員増強・新クラブ結成推進月間 会員増強の可能性

新入会員を呼び込むための10か条について書かれています。入会候補者とクラブに臨むことをうまくマッチングさせることの大切さ。クラブの長所をリストにする。入会候補者のリストの管理、クラブの強み、会員増強を最優先とする。ロータリーについてお話しする。会員の責任（会費や出席ガイドラインその他クラブで期待されることなど）をリストアップする。会員増強がゴールでないことを認識する。入会式をお祝いしたり、粘り強く、精力的に例会やイベントを活気あるものにするなどが挙げられています。

女性の入会には家庭・仕事・子育てなど忙しい中、周りの人々の協力を得られるようにすることが大事。一度に数人の女性を入れた方が例会に参加しやすいなどの例も16ページで挙げられています。親睦奉仕と一緒に積極的に行うことが会員増強と維持につながることも記載されています。

【注目記事】●横組み P28 ~ 29

青少年交換プログラムのさらなる充実のために 第23回RI日本青少年交換研究会千葉会議

5月12日から13日までの研究会の様子が記載されています。ロータリーで最も成功している事業といわれるのが青少年交換プログラムですが、日本では300人いた交換学生が現在は180人と減少していること。ホストファミリーが減少していることなどが原因として挙げられています。また派遣学生には家の手伝いを積極的に行うことなどを教えることやコミュニケーションの取り方等が話し合われました。

【注目記事】●縦組み P4 ~ 8

変化をチャンスに

アサヒグループホールディングス(株)

代表取締役会長 泉谷直木氏 記念講演

泉谷直木氏の2540地区大会市民公開記念講演の要旨が掲載されております。国連で世界幸福度ランキングを発表しているがトップがデンマークであり、日本は53位だそうです。デンマークは国民の半分以上がボランティアに参加していること、労働者には奉仕が義務付けられていること、奉仕と親睦がデンマークであることによって幸福度が上がっているということが述べられています。これはロータリーの精神に相通じるものがあります。

ビールの市場規模は少子高齢化の影響もあり23年前と比べると30%近く縮小しています。「どうやって売っていくか」から「どうやって買っていただくか」への発想の転換が必要であること。その認識が社内で共有されないと売れる商品が生み出されないことなどが述べられています。10か条のチャレンジポイントを挙げていますが、改革の時期は業績に勢いがあるときに改革をすべきと述べられています。

【注目記事】●縦組み P26

ロータリーアットワーク

観光名所の池で水質浄化作業

二本松あだたらRCが霞が城公園内の池を地元の町会のメンバーとともに水質浄化作業を行ったことが記載されています。浄化装置の設置と浄化作用があるとされるバイオ菌200リットルを投入し水質向上と環境改善を図っていることが紹介されています。

人事 消息

当クラブに在籍されていましたが(平成22年8月~平成25年6月) 澁谷直樹さんが、7月付けで東日本電信電話株式会社 代表取締役副社長に就任されました。

RI第2530地区「クラブ研修リーダー会議」報告

8月18日(土)にビッグパレットふくしまで第2530地区クラブ研修リーダー会議が開催されました。平井義郎ガバナーを始め地区役員、研修委員12名、クラブ研修リーダー約60名の参加でした。14:00より平井ガバナーの開会点鐘と挨拶、地区研修リーダーの酒井善盛パストガバナーの挨拶に続き研修に入りました。

一部では、「クラブ研修リーダーの一般的責務」と題して、地区運営委員会委員長の阿久津肇PGの基調講演があり、二部では、「新会員オリエンテーションの進め方」のテーマで、5名の地区委員より、それぞれ10分間の講演がありました。①オリエンテーションの計画と内容(佐藤喜市郎委員:飯坂RC)、②メンターの役割(笠原宏男委員:本宮RC)、③会員同士の絆と参加(紺野義人委員:川俣RC)、④新会員がクラブになじむ15の方法(中田博道委員:いわき平RC)、⑤ロータリーのリソース活用(渡辺健寿委員:福島RC)。大変勉強になりました。クラブ研修リーダーは第2530地区で平井ガバナーが初めて創設した役職ですが、各クラブ内での具体的な職務内容やロータリー情報委員会等とどう関わっていくのか等極めて曖昧な点が多く今後の課題であると感じました。

(文責:佐藤英典 会員)

私のひとこと



綾部健吾 会員

福島に赴任して2回目の夏になりました。今年は酷暑と なってます。毎日サウナ状態で早く秋が来て欲しいと思う今日この頃です。ただ夏の季節は美味しい桃が食べられるので夏バテせずにいられます。

桃の栄養価と効能

1. ペクチンが含まれている。便秘や下痢を予防する効能。
2. カリウムも含まれてる 血圧の安定、むくみの解消。
3. カテキンが含まれている。老化防止、ガンの予防。
4. 鉄分やマグネシウムが含まれている。貧血予防。
5. 桃の種は生薬として使われている。
6. バランスの良い栄養。

女性に優しい機能が満載! 良いこと尽くめです。

新 会 員 入 会 式



●東北電力株福島支店 支店長

えなみ つねお
江波 恒夫 様

(紹介者 丹治正博 会員)

8月誕生祝い

~おめでとうございます~

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 菅野 晴隆 会員
昭和41年8月7日 | 八巻 恵一 会員
昭和34年8月14日 |
| 江本 和彦 会員
昭和48年8月10日 | 反後 太郎 会員
昭和39年8月21日 |
| 今井理基夫 会員
昭和22年8月12日 | 右近 八郎 会員
昭和28年8月23日 |



ニコニコBOX 報告

本日のニコニコBOX投入額 25件 ¥50,000 累計 ¥347,000

[報告] 佐藤 裕 委員

五阿弥 宏安 会員

江波さんの入会式、おめでとうございます。また後藤会員のスピーチ楽しみにしています。

幡 研一 会員

江波会員の入会を歓迎します。後藤浩之会員のスピーチに期待して。

後藤 浩之 会員

競馬場の花火大会も盛況のうち、終わることができました。残暑厳しい折り、皆様もお体にはご自愛ください。

丹治 正博 会員

今週の25日(土)に「第4回未来の祀りふくしま」が稲荷神社境内で開催され、島根県から石見神楽が参ります。夕方5時からですので夕涼みがてらお越し下さい。

茂田 士郎 会員

私の勤めている老健施設の前には、旧飯坂街道と飯坂線が併列して走っています。飯坂街道には東側にのみ狭い歩道があり、歩行者と自転車が走っています。西側には飯坂電車が走っており、歩道も自転車道もありません。それで福島方

面に向かう自転車は右側の歩道を走るか、または左側の自動車道を走るかで、非常に危険です。車の往来も盛んで、自転車の使用者のためには早急に対策されるべき道路だと思えます。

佐藤 康太郎 会員

後藤さんのスピーチ楽しみにしております。

中山 興 会員

先日の納涼会では会員のご家族様を含めて新たな輪を広げることができました。ご縁の広がりに感謝しております。

江波 恒夫 会員

本日より、お仲間に入れていただきます。宜しくお願い致します。

クラブ会員より 白岩康夫/熊坂仁美/佐藤美奈子/安藤健次郎/坪井大雄/吉田大樹/小原 敏/八子英器/江本和彦/佐藤英典/八巻恵一/佐藤朋幸/増子 勉/江花 亮/今井理基夫/加藤義朋/高倉裕行